第3次八幡市環境基本計画について

資料２

１．概要と計画策定について

本市における環境政策の基本的な考え方と長期的な目標を示して、施策の方向を明らかにする「八幡市環境基本計画」を平成13年10月1日に策定しました。

そして、平成24年に策定した第2次八幡市環境基本計画の計画期間が満了し、見直しの時期を迎えることから、多様化する環境問題に対応すべく、第3次八幡市環境基本計画を令和4年3月に策定しました。この計画では、SDGs（持続可能な開発目標）の考え方を活かした「人と自然が共生し　みんなで創る持続可能なまち」を望ましい環境像として掲げるとともに、令和32年カーボンニュートラルの実現を目指していくこととします。

２．望ましい環境像、基本方針、目標等

望ましい環境像	人と自然が共生し　みんなで創る持続可能なまち【計画P.38】			
基本方針１	脱炭素社会に挑戦するまち（八幡市地球温暖化対策実行計画）【計画P.39】			
施策	1.省エネの取組推進【計画P.51】	2.再生可能エネルギーの普及推進【計画P.54】	3.脱炭素のまちづくりの推進【計画P.55】	4.気候変動適応策の推進【計画P.57】
目標	令和12年度に市内の温室効果ガス排出量46%削減（平成25年度比）【白書P.19】		令和12年度に市内の再生可能エネルギー27,000kW導入【白書P.23】	
現状	349千t-CO2、12.7%削減（令和4年度）		14,318kW導入（令和5年度）	
基本方針２	ごみを減らし資源が循環するまち【計画P.39】			
施策	5.ごみ減量と再使用（2R）の推進【計画P.58】		6.資源の適切な循環利用と適正処理の推進【計画P.60】	
目標	令和8年度に1人1日当たりのごみ排出量780g【白書P.27】		令和8年度に再資源化率35%【白書P.29】	
現状	772g/人・日（令和4年度）		13.3%（令和4年度）	
基本方針３	人と自然が共生するまち【計画P.39】			
施策	7.生物多様性の保全【計画P.62】		8.人と自然のふれあい【計画P.64】	
目標	やわたのまちの小さな仲間たちフォトコンテスト参加者数の増加【白書P.31】		グリーンカーテン写真コンテスト参加者数の増加【白書P.33】	
現状	43人（令和5年度、前年度から25人増加）		13人（令和5年度、前年度から1人増加）	
基本方針４	安心で快適に住み続けられるまち【計画P.39】			
施策	9.安心に暮らせるまちづくり【計画P.65】		10.良好な生活環境の確保【計画P.67】	
目標	不法投棄の削減【白書P.41】		不適正な焼却行為の削減【白書P.35】	
現状	13件（令和5年度、前年度から2件減少）		7件（令和5年度、前年度から1件減少）	
基本方針５	みんなで取り組む環境活動のまち【計画P.39】			
施策	11.環境教育・環境学習の推進【計画P.69】		12.環境に配慮した活動の推進【計画P.71】	
目標	環境学習参加者数の増加【白書P.45】		美化運動参加者数の増加【白書P.47】	
現状	1,639人（令和5年度、前年度から352人増加）		16,463人（令和5年度、前年度から1,972人増加）	

※環境基本計画の概要は、令和6年度版環境白書P.15からP.17にも掲載しています。

３．環境基本計画における重点的な取組

重点取組１　再生可能エネルギーを広めてエネルギー自立のまちづくり【計画P.44】
重点取組２　地域資源を活用して目指す「地域循環共生圏」【計画P.46】
重点取組３　みんなで参加して環境活動の活性化【計画P.48】
＜取組事例＞
リユース太陽光パネル設置実証事業（重点取組１及び２に該当）【白書P.18】

説明	ゼロカーボンシティと循環型社会の同時実現を目指す施策として、男山公民館にリユース太陽光パネルを設置し、発電量やパネルのコンディションをモニタリングする事業
実証期間	令和６年２月１１日～令和６年３月２９日
事業場所	八幡市立男山公民館
設備内容	リユース太陽光パネル（7年使用）7kW、パワーコンディショナー4.95kWh、発電量計測モニター
実証結果	① 発電性能について、新品（推定発電量911.97kWh）と比較してリユース品（実績発電量905.91kWh）の発電量が約99%と遜色がない結果となった。 ② 費用について、パネル本体は新品と比較して約70%削減効果があり、事業費全体では約15%の削減効果が見込まれた。 ③ 保証について、新品の保証期間（20～25年）と比較して、リユース品は瑕疵保証が3年と短期であった（一般的には保証がない）。